

大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin



■クラブ創立：2000年1月13日
 ■例会日：水曜日（12：30～13：30）
 ■例会場：中部コミュニティセンター
 TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
 ■事務所：〒299-3251
 大網白里市大網450-6 ユアサビル2階
 TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
 ■会長：小高 徹 幹事：高山 義則
 ■広報・公共イメージ向上委員会
 委員長 高野 祐二・会報担当 石田 英世

2022年10月26日(水)
第24巻第14号

通巻第1001号

<http://www.oamirotary.com>
 E-mail: rc@oamirotary.com



本日の例会

点 鐘 会長 小高 徹
 ソング 我等の生業
 会長挨拶 会長 小高 徹
 幹事報告 幹事 高山 義則
 プログラム

卓話
 特定非営利活動法人リンク 吉井 様
 WAM(独立行政法人福祉医療機構)
 「ホットステーション事業について」

ニコニコBOX

小高会長
 10月8、9日の地区大会、お疲れ様でした。また、11日のガバナー公式訪問では、多くのクラブ会員の皆様に出席いただき、本当にありがとうございました。内心、ホッとしており、にこにこです。ありがとうございました。

例会日	10月19日	10月5日
会員数	31	31
出席	19	21
欠席	12	10
M U	0	0
免除	6	4
出席率	80.65%	80.65%

会長挨拶

小高 徹 会長



みなさん、こんにちは。
 10月も半ばを過ぎまして、めっきり朝夕は寒さを感じる今日この頃、体調など崩さぬよう、ご自愛下さいませ。
 さて、先々週、8日、9日と行なわれました地区大会、そして、中一日おいて、11日、小倉ガバナー公式訪問、茂原中央ロータリークラブ、大網ロータリークラブの合同例会には、当クラブ会員の出席を頂きありがとうございました。そして、準備からお手伝い頂きました。皆様には感謝申し上げます。

私自身、内心「ちょっとホット」しております。歴代の会長経験のある方たちは経験上お解りと思いますが、ガバナー公式訪問では、どんな質問等があるのか、この年になりまして久々に、ドキドキいたしました。
 懇談会の席で小倉ガバナーより当クラブに対し、今後の大網ロータリークラブの課題、今後目指して行く活動等についてお話を頂きました。

- 1.クラブの平均年齢が69歳、若い人方の入会を望みます。
- 2.クラブ内に於いて研修委員会、積極的な研修会・セミナーの参加
- 3.My ROTARY の登録、このサイトからロータリーの知識をより深くし、日常に生かして頂きたい。

当クラブに於いては、チャーターメンバーも多く在籍している関係でIT導入には、多少時間がかかるかと思われそうですが、順次おこなって行きますので、皆様方にはご協力宜しくお願い致します。以上会長挨拶を終わります。

マルチプル PHF・ポリオ・プラス認証者表彰 及び ネパール寄付



<マルチプル PHF 認証者>

板倉 孝雄 会員 1,000ドル
 小高 徹 会員 1,000ドル
 関谷 清一 会員 1,000ドル
 清宮 満巖 会員 1,000ドル

<ポリオ・プラス 認証者>

清宮 建治 会員 1,000ドル



<ネパール寄付>

四之宮 由己 会員 (10万)
 板倉 孝雄 会員 (2万)

クラブより (3万)

皆様のご支援に感謝申し上げます。

長らくご支援ありがとうございました



皆さんこんにちは。ご紹介にあずかりましたシュレスタ・ラジブと申します。

本日は卓話の貴重な機会をいただき光栄に存じます。

本日の卓話目的は皆様の前で感謝の意を伝えることです。これまで長らくご支援ありがとうございました。個人的にまたネペムコの代表として、ネパールで恩恵を受けた方々に代わって、この場を借りて、四之宮お父さん、板倉孝雄様、大網ロータリークラブの皆様には厚く御礼を申し上げます。個人的には私ども家族共々毎年何らかの形で皆さんと交流をさせていただき、とても嬉しく思っております。いつも温かく迎えて下さり、居心地の良い場所を提供して下さっていることにより、日本での疎外感が払拭されることにつながっていると思っております。

また、ロータリアンからの無言の影響があり、何らかの形で社会奉仕をすべきという考え方が頭の中に刻み込まれ、これまでもその方針で活動して来ました。今後もめげずにこの考え方を貫いて行きたいと思っております。

お陰様でこれまで 339 人の識字者と 65 人の奨学生が直接恩恵を受けることが出来ました。

ネパールの識字率向上の一助をなりたいという思いから始めた識字学級（寺子屋）は、皆様のご支援により開催することが出来、少しでも貢献することが出来ました。

S.N.	識字教室名称	人 数	開始日	終了日	修 了
1	Sa:ko Tole, Chapat Lalitpur	26	2005/10/29	2006/9/25	19
2	Dukuchhap, Lalitpur	25	2006/1/14	2007/2/26	17
3	Pilachhen, Lalitpur	15	2006/12/16	2007/12/12	10
4	Chasal Tole, Lalitpur	27	2008/1/26	2008/12/20	19
5	Harisiddhi, Lalitpur	18	2008/1/29	2008/12/21	13
6	Chapat Tole, Lalitpur	23	2008/5/28	2009/2/23	16
7	Chasal Tole, Lalitpur	41	2009/7/30	2010/5/29	29
8	Sundhara, Lalitpur	28	2009/8/31	2010/7/3	22
9	Sa:ko Tole, Chapat Lalitpur	27	2011/9/18	2012/8/25	21
10	Guitole, Lalitpur	20	2011/10/18	2012/8/18	15
11	Godamchaur, Lalitpur	20	2013/10/6	2014/5/17	14
12	Kotdanda, Lalitpur	25	2013/12/5	2014/3/4	18
13	Karkigaun, Lalitpur	22	2014/8/26	2015/2/22	16
14	Mulpani, Godamchaur, Lalitpur	22	2014/8/26	2015/2/22	15
		339			244

※2005年～2015年まで14か所で339人の女性に政府指定のカリキュラムによる6ヶ月以上の教育を与えることができました。ただし完全に修了したのは244人。

ところが、2015年現在は対象としていた地域を含むラトリプール市は100%識字率達成地域と指定されました。

ネパールで大震災に見舞われ、その後識字学級の定員を確保することができなくなり、識字学級プロジェクトから手を引くことになりました。代わりに、奨学金プロジェクトに集中して取り組むことにしました。奨学金プロジェクトは2009年から始めたわけですが、これまで65名に支給しております。ネパールの学校教育は小5、中3、高2で10年生です。10年の末に国家試験があり、それから進学するか仕事をするか進路が分かれています。また小学校5年まで義務教育のために授業料が無料になります。しかし、中学校から授業料を支払う必要があり、その分を補填している形になります。6年生から採用して10年生まで面倒を見る形にしておりました。

2007年に四之宮お父さんのご寄付から始まり、それに板倉様が個人として、さらに大網ロータリークラブが組織として賛同され、私どもネペムコのネパールでの活動に支援を継続されて下さいました。ネパールの国内情勢、大震災、コロナの影響などで思い通りの成果が上がっていないのが事実であり、良い報告が出来なく申し訳なく思っております。このプロジェクトは今年度をもって終了することになっております。ネパールでの活動を大きく方向転換することになってはいますが、毎年10名の子供たちに奨学金を与える事業を継続していく決意でございます。ここまで出来たこと、また今後のマインドセットが出来たこと、すべて大網ロータリークラブのお陰です。皆様に会う時には、毎年何らかの形でご報告できるように邁進して参ります。今後とも相変わらぬご指導、アドバイスを頂きますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

追加発表内容：

- ① 千葉県で初めての衛星クラブが出来ました。
千葉ロータリークラブが親クラブになって出来たこのクラブに、現在14名ほどメンバーがいて、毎月2回例会を行っております。
- ② ネパールの文化紹介：娘の2回目の結婚式
私の民族では女の子に対して3回結婚式を行います。最初の2回は象徴的な結婚（神様と結婚）になります。娘の2回目の結婚式のためにネパールに行って来ました。本来なら12日間太陽の光が入らない部屋にこもる必要がありました。しかし、最近大分緩和されて、3日間で終わらせるなど工夫されて来ています。これは通過儀礼の一つで、太陽との結婚式になります。これが行われて初めて人間と結婚できるのです。通過儀礼であるだけに親の責任が重く、無事に終わってほっとしております。
- ③ 日本の役所のシステムはいかにいいものか痛感したエピソード
私の末っ子の出生届をネパールで出して、未成年証明書を発行してもらう作業が必要でした。実は日本で生まれて、もちろん日本で出生届を出してありますが、パスポートを作るときに、次回更新する際（5年後）に未成年証明書を出す条件があります。未成年証明書をもらう前に出生届を出す必要があります。いろいろと苦労して10日間かけてやっとその書類を手に入れたのです。ネパールでの滞在時間はほぼその手続きのために潰れてしまいました。日本はいかにシステムティックになっているかと思ひ、ネパールで経験した苦悩を思い出すと憎むばかりです。